

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
104

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2025年2月27日

発行：せとうちDMO

発行人：小原・京極

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業 令和6年度年次報告会にて講演しました！

観光庁では消費額増加、地方への誘客をより重視し、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある高付加価値旅行者の地方への誘客を促進するため、総合的な施策を集中的に講じるモデル観光地を選定しており、せとうち地域も選出され、我々も各種取組みを行っています。

今回、各モデル観光地（全14地域）による取組等の発表を目的として、東京都にあるTKP大手町カンファレンスセンターにて令和6年度の年次報告会が開催され、当機構の坂元事業本部長も登壇しました。

【当日の次第】

1. 開会 観光庁挨拶 有識者の紹介
2. モデル観光地から取組等の発表
3. 閉会

■参加者

「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地関係者、観光地域づくり法人(DMO)、地方運輸局、日本政府観光局(JNTO)、外部有識者



↑発表を行う坂元事業本部長

発表では今年度の成果として、せとうちDMCの立ち上げ、ホテル誘致開発窓口の設置やスーパーヨット誘致に向けた取組みなどを紹介いたしました。

また、各プロジェクトを進める中で見えてきた気づきと課題、そして来年度の取組み予定などについても皆様に共有させていただきました。

せとうちが「世界一のデスティネーション」として、全世界のお客様に選んでいただけるよう、今後も誘客・魅力的な観光地づくりに向けた取組みを進めてまいります。



2. 今年度の成果について

せとうちDMOは、一般社団法人 せとうち観光推進機構（以下、STAという）、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション（以下、SBCという）、株式会社せとうちDMOメンバーズ（以下、SDMという）の3社を構成組織として2016年より活動しています。マーケティング・プロモーション及び地域の魅力づくり支援を行うSTAと、ファンドを組成し投融资機能を発揮することで、金融機関の資金支援を最大限に引き出すような環境を作り、地域の観光関連事業者が持続的にビジネスを推進できる仕組みづくりを行うSBCの連携により、今年度は下記の成果を上げてきました。

1	せとうちDMCの立ち上げ	地域のコンテンツの磨き上げをSTAで行い、SBC内のDMCで直営のファムツアーを実施
2	ホテル誘致開発窓口の設置	SBCによるコンサルティング
3	高付加価値旅行者向け宿泊施設の集結	SBCのファンド活用
4	ホテル「尾道倶楽部」の開発・運営	SBCの子会社による宿泊事業、SBCのファンド活用
5	SBC設立の新会社を通じた瀬戸内海汽船線への出資	SBCのファンド活用
6	スーパーヨット誘致に向けた取組	STAのプロモーション及び誘致活動と、SBCのエリアディベロップメント・ファンド活用

↑モデル観光地事業の年次総括レポートを用いて、当DMOの取組み内容を紹介しました！

1/18 (土) ~20 (月) 山口にてFAMツアーを実施しました!

観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」の一環におけるFAMツアーを実施。海外の旅行会社や国内DMCの皆さまを招聘し、山口県をご案内しました。(1月17日は広島県にて実施)

Yamaguchi Hagi Nagato Shimonoseki

Schedule

1.18 Sat

Hagi Lunch : 鯛子176

はぎまえ698 : 萩城下町ウォーキングガイドツアー

鳥雲窯 : 萩焼 陶芸体験

Nagato 宿泊 : 大谷山荘

1.19 Sun

Nagato 視察 : 萩焼深川窯 田原陶兵衛工房

視察 : 元乃隅神社

Shimonoseki 視察 : 角島大橋

Lunch : 唐戸市場

下関酒造 : 蔵見学&利き酒体験

視察 : 亀山八幡宮

Dinner : 古串屋

Fukuoka 宿泊 : JR九州ステーションホテル小倉

1.20 Mon

解散

ツアーの様子

大谷山荘
2016年 日露首脳会談の会場



鳥雲窯
萩焼 陶芸体験



下関酒造
利き酒体験



ツアーを通して (参加職員感想)

初めて山口を訪れた方、過去一度だけ訪れたことがある方など、来訪経験は様々でしたが、山口の魅力をしっかりお伝えした3日間で、皆さまからも満足のお声をいただきました。特に大谷山荘のホスピタリティの高さやフグをはじめとした食の魅力については皆さま大変感動されておりました。

また、コンテンツのストーリーや背景を重視される方もいらっしゃるれば、送客のしやすさや体験時間などの実務的な内容を中心に聞かれる方など、皆さまそれぞれが異なる着眼点をお持ちでツアーに臨まれていました。異なるニーズにしっかりお応えできるようなプロモーションを引き続き心がけていきます。

この度は山口行程のご紹介ですが、同様に他の6県でも旅行会社やDMCの皆さまを招聘したFAMツアーを実施しております。せとうちエリアの魅力が存分に伝わり、多くのお客様がせとうちへ訪れるきっかけにしていけたらと考えております。

クルーズ船視察・勉強会を開催しました

観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業のテーマの一つとして、「クルーズ」を掲げており、クルーズによる瀬戸内海での周遊を実現するため、せとうちにおけるクルーズ事業の体系構築や、クルーズ産業の増強を目指しています。

せとうちエリアのガイド及び観光関係者に実際に乗船いただき、認知向上及び利用促進、ガイド案内の質の向上等を図るために「SEA SPICA (シースピカ)」「瀬戸内joycruise」視察・勉強会を実施しました。

参加した方からは、「シースピカのマリンガイドさんが島巡りガイドの参考になった。」「船内が快適、陸路のように渋滞等がなく、景色が美しく非日常感が味わえる。」「お客様がどのようにクルージングを楽しむことができるかお客様の動線・視線のイメージ化をすることができた。」などの感想をいただきました。

今後も、海から感じるせとうちの魅力発信の選択肢を増やし、クルーズをせとうちのウリにするため、地域へのインナープロモーション及び海や島、船そのものについて語れるガイドの育成を行ってまいります。

皆様も瀬戸内の魅力的なクルーズをぜひ体験してください。

SEA SPICA (シースピカ)

■ 日程:2025年1月9日(木)

【往路】広島港 9:20~10:50御手洗 (60分滞在)~三原港 12:50

【復路】三原港 13:20~14:20御手洗 (60分滞在)~広島港 16:50

■ 概要: 船内の視察、マリンガイドによる船内案内、寄港地(御手洗地区)での地元ガイドによる案内等

■ 参加者: 往路29名、復路25名 (DMO職員等除く)

□ SEA SPICA

2020年夏に観光型高速型クルーザーとして就航し、G7広島サミットの際に、宮島への首脳陣の移動手段としても使用されました。座席定員は90名で、船内では観光ガイドやお土産物等の販売も楽しめます。

2025年からは航路をリニューアルし、尾道港まで延伸されます。

広島→尾道の「うさぎコース」、尾道→広島の「しまなみコース」のどちらも乗船・下船の港を旅行の行程に合わせて選択できます。

今回の視察・勉強会のようにチャーターにも対応しています。

【運航】瀬戸内シーライン株式会社 (瀬戸内海汽船グループ)

[瀬戸内しまたびライン](#) | 「SEA SPICA」で巡る瀬戸内の旅



□ 御手洗(みたらい)

とびしま海道の島「大崎下島」にある、風待ち・潮待ちの港町。

大小の商家、茶屋、神社、常夜灯などが江戸時代の面影を今に残します。

「旧柴屋住宅」「新光時計店」「船宿カフェ若長」に立ち寄り、町の成り立ちと

色街として栄えた歴史の話、時計店と相生通り・北前船で栄えた商売と歴史の話、

維新の志士と密貿易の話、まちづくり活動の現状を地元ガイドから案内いただきました。

【協力】合同会社よーそろ <http://www.yosoro.com/>

瀬戸内joycruise

■ 日程:2025年1月16日(木) 11:30~14:00

■ 概要: 船内の視察、軽食・フリードリンクプランの体験

(おのみち海の駅発着で因島周辺周遊を予定していたが天候によりベラビスタマリーナに係留したまま実施)

■ 参加者: 8名 (DMO職員等除く)

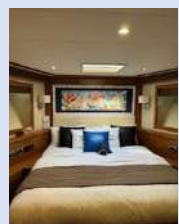
□ 瀬戸内joycruise

イタリア製の船内で絶景を眺めながら旬の食材を使った料理を楽しんだり、混雑のない船の上で観光だけでなく海を存分に楽しむアクティビティや会議、ウェディングでの利用も可能です。

チャータークルーズで尾道・三原・ベラビスタマリーナを起点に、クルーたちが厳選した観光コースやご要望・ご予算に合わせたカスタマイズまで幅広く対応しています。

【運営】瀬戸内Joycruise株式会社

[瀬戸内海クルージング「Joycruiseジョイクルーズ」【公式】](#) | 広島県尾道市 | 地上にないドラマを。



第3回理事会及び臨時社員総会を開催しました。

せとうち観光推進機構は2月3日(月)グランヴィア岡山(岡山県岡山市)にて、理事会及び臨時社員総会を開催いたしました。当日は各県及び社員企業の皆さまに現地出席・オンライン参加をいただきました。会議では、2025年度事業計画及び収支予算についての付議や成果目標の見直しについての協議を行うとともに、事務局から「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり年次報告を行い、皆様と意見交換を実施いたしました。

理事会



【理事会付議案件】

- ・第1号議案
2025年度事業計画及び収支予算について

【報告事項】

- ・2024年度職務執行状況報告
- ・成果目標について
- ・「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり年次報告

臨時社員総会



【報告事項】

- ・2025年度事業計画及び収支予算について
- ・2024年度職務執行状況報告
- ・成果目標について
- ・「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり年次報告

各県担当者会議・先進地視察を開催しました！

2月4日(火)当機構との窓口となっただいただいている各県のご担当者様と、機構職員と会議と観光先進地の視察を開催し、情報共有を図りました。

(参加者) 各県から9名 機構から9名

(第1部)・・・岡山県立図書館セミナールームにて

- ・理事会、総会資料に基づき機構担当者からの説明
- ・各県よりインバウンドの取組報告
- ・質疑(各県⇄機構だけでなく、県⇄県への質問など活発な意見交換を実施。)

(第2部)・・・岡山県倉敷市美観地区

- ・ガイドをよしみ屋BASE代表の原 浩之様に依頼

300年続く家柄の9代目で、倉敷での観光・不動産に従事され、倉敷天文台の理事長も兼任し、ガイド業についてはインバウンドを中心に行われている。外国人に伝える倉敷は、単に建物の説明のみに終わらず、祖父等からの一族の言い伝えを盛り込み説明しているとのことでした。



瀬戸内海だけじゃない「せとうち地域」の魅力を紹介 「冬こそ庄原！」県北の冬の魅力を堪能しよう(1)

広島県の県北に位置する庄原市は、冬ならではの魅力がたくさん詰まったエリアです。一般社団法人庄原観光推進機構は、冬の庄原市の魅力を発信する「冬こそ庄原」キャンペーンを展開し、特設ページや冊子を通じて、雪遊び、温泉、グルメ、宿泊施設などの情報を発信しています。



「冬こそ庄原」の魅力

「冬こそ庄原」では、家族連れからカップル、一人旅まで楽しめる冬の観光スポットを紹介。特に、冬ならではのアクティビティとして、スキーやスノーボード、雪遊びが楽しめるエリアが充実しています。広島で雪?と意外に思われる方も多いのですが、広島県には豪雪地帯に指定されている地域があり、庄原市もそのうちの一つです。

さらに、冷えた体を温める温泉や、地理的表示(GI)保護制度に登録されたブランド和牛「比婆牛」など、地元食材を使ったグルメも堪能できます。



市内には雪遊びができる公園やスキー場も！



体を温める温泉施設も充実



雪上キャンプも夢じゃない



GI認定和牛の源流「比婆牛」でガストロノミー

瀬戸内海だけじゃない「せとうち地域」の魅力を紹介 「冬こそ庄原！」県北の冬の魅力を堪能しよう(2)

【アクセス】

庄原市には、中国自動車道庄原インター、尾道松江自動車道路高野インターなどがあり、高速道路からのアクセスも良く、安芸の宮島や原爆ドーム、しまなみ海道など主な観光地から車で2時間程度のドライブ。1日のうちに、温暖な気候の瀬戸内海から雪景色の庄原へといった移動も可能。これも、せとうちエリアの魅力の一つです。

【せとうち古民家ステイズHiroshimaの特別プラン】

庄原市には、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションと一般社団法人庄原観光推進機構が共同で運営する宿泊施設「せとうち古民家ステイズHiroshima」があります。1日1組様限定1棟貸のこの施設では、「冬こそ庄原！」をテーマに、冬の庄原を存分に楽しめる2つの特別プランを企画し、冬の誘客を促進する取り組みを行っています。

1. 冬こそ庄原！ファミリープラン

小学生以下のお子さまの宿泊料が無料となるプランです
(通常小学生4,400円、乳幼児2,200円)

冬のお出かけをよりお得に楽しめるファミリー向けのプランです。



2. 冬こそ庄原！1泊分の料金で2泊できる連泊プラン

庄原の広大な自然やアクティビティを存分に楽しむために、1泊分の料金で2泊できるお得なプランを提供。冬の庄原をたっぷり堪能できる絶好のチャンスです。
※3月以降は「冬こそ庄原！」の文言が外れますが、期間限定でプランを継続して提供します。プランの詳細は、公式ホームページまたは、下記までお問合せください。



【せとうち古民家ステイズHiroshimaへのご予約、お問合せ】

一般社団法人 庄原観光推進機構

せとうち古民家ステイズHiroshima係

■電話番号:0824-72-3385(受付時間:9:00-17:15)

■公式ホームページ:<https://cominca-stays.jp>

■インスタグラム:

https://www.instagram.com/cominca_stays/



【冬こそ庄原特設サイト】

<https://www.shobarainfo.com/campaign2324/>



瀬戸内海だけじゃない「せとうち地域」の魅力を紹介 「冬こそ庄原！」県北の冬の魅力を堪能しよう(3)

「せとうち古民家ステイズHiroshima」

開業:「不老仙」「長者屋」2019年9月、「こざこ森」2020年3月、瀬戸内ブランドコーポレーション100%出資子会社「株式会社古街計画」と一般社団法人庄原観光推進機構が共同で運営。

庄原市をはじめ地元有志との取り組みにより実現した古民家再生による地方創生プロジェクト。

庄原市に1日1組様限定一棟貸しの上質な空間を提供する宿泊施設。中国山地の中ほど、なつかしい里山に囲まれた“広島隠れ里”庄原市内には築100年以上の古民家が散在しますが、特に素晴らしい景観に建つ築100年~250年の三棟をリノベーションしたのが『不老仙』『長者屋』『こざこ森』です。

『不老仙』 アクセス:中国自動車道 庄原ICより車で約20分

■所在地:広島県庄原市上谷町796

■宿形態:パッケージレンタル(一棟貸し切り1組様限定)

■最大定員10名(推奨定員8名)

■施設:ベッドルーム1室、和室2室、ダイニングキッチン、浴室、トイレ×2



『長者屋』 アクセス:中国自動車道 庄原ICより車で約40分

■所在地:広島県庄原市比和町三河内1528

■宿形態:パッケージレンタル(一棟貸し切り1組様限定)

■最大定員10名(推奨定員8名)

■施設:ベッドルーム1室、和室2室、リビングダイニングキッチン、浴室、トイレ×2、歴史ルーム、駐車場



『こざこ森』 アクセス:中国自動車道 庄原ICより車で約50分、

尾道松江道高野ICより約15分

■所在地:広島県庄原市高野町下湯川279

■宿形態:パッケージレンタル(一棟貸し切り1組様限定)

■最大定員10名(推奨定員8名)

■施設:土間リビング、和室1室、洋室2室、ダイニングキッチン、浴室、トイレ×2、駐車場



☆『こざこ森』は中型犬までのペットも可☆

せとうちアカデミー報告

第119回：日本刀の聖地・長船 – 刀剣をテーマにした文化観光の推進 –

瀬戸内市の長船を中心とした地域は、質・量ともに日本一（世界一）の日本刀生産地です。
 瀬戸内市では、国宝「太刀 無銘一文字（山鳥毛）」の里帰りをきっかけに、「備前おさふね刀剣の里（備前長船刀剣博物館）」を拠点とした日本刀の聖地づくりを進めています。
 地方での地域資源（歴史文化資源）を活用した地域づくりの現状をお伝えしました。



- ・長船地域や備前おさふね刀剣の里の特徴について
- ・来訪者の状況について
- ・来訪者の満足度向上や周遊促進、地域消費について
- ・旅行商品の造成について など

◆講師：瀬戸内市産業建設部文化観光課 課長 若松氏
<https://www.city.setouchi.lg.jp/>
 ◆日時：2025年1月23日(木) 14:00～15:00

第120回：創業1年、美食観光系スタートアップの七転び八起き

「伯方島が好き、魚が好き」
 これだけの気持ちから全く未経験の美食観光分野で起業した中村社長に、観光で地域を良くするために1年で行ったすべてを振り返っていただきました。

- ・地方に都会のトップシェフを招いて、産地ならではの特別なコースを提供する美食の新しい形（レストラン「虹吉」）
- ・愛媛のカリスマ漁師・藤本純一氏を起点とした漁業の6次産業化
- ・子育て支援NPOと連携した旅育プログラムの開発
- ・しまなみのホテルと連携した分散型オーベルジュ
- ・今治・しまなみ地域通訳案内士取得とインバウンド
- ・5つのビジネスプランコンテストへの出場
- ・島の高校生から主婦まで、10人のアルバイト雇用

など、良いと思うことは何でもやってみた1年の経験から、真に地域にコミットするツーリズムについてお話しいただきました。

◆講師：株式会社ミズサキ（旧社名：株式会社オーベルジュ藤本）
 代表取締役 中村唯衣那氏

◆日時：2025年2月13日(木) 14:00～15:00

